

神戸市教職員組合 栄養教員部との交渉議事録

1. 日 時：令和5年12月15日（金）17：30～17：55
2. 場 所：教育委員会会議室
3. 出席者：
（市）学校環境整備課長、学校環境整備課管理係長、健康教育課長、健康教育課中学給食係長、小学校給食係長、教職員課長、教職員課係長（労務制度担当）、他1名
（組合）書記長、書記次長、他4名
4. 議 題：2024年度 教育環境整備・労働条件改善に関する要求書の提出について
5. 発言内容：
（組） 学校環境整備課に対する要求について発言します。
給食室を改修後のフォローや改修予定の学校及び修理を必要としている学校への丁寧かつ早い対応、ありがとうございます。また、包括管理業務を通して行う修理等の要望につきましても、各校からスムーズに対応されていると聞いています。重ねてお礼申し上げます。
今後、気になる件があります。児童・生徒が増えている学校、特に特別支援学校などは学校からも設備等の要望があがっていると思います。現状をご理解いただいたうえで、継続して改善していただきますよう、お願いします。
また、給食室の設備によっては、故障した際に早急に改修をしないと調理作業が困難になるものが多数あります。たとえば、大型の給湯器（ボイラー）冷凍冷蔵庫・食器洗浄機・スライサーなどです。大量調理で日々使用していますので経年劣化で使えなくなるものもあります。定期的なメンテナンスと計画的な改修や入れ替えをお願いしたいと思います。
（市） 給食室含め学校全般において、昨年度より本格的に統括管理事業がはじまっており、建築設備について、有資格者による総点検等の実施に加えまして、年に3回学校ごとに点検業者による専門的な視点や技術的な面での安全点検を実施しているほか、概ね2ヵ月に1回程度、各学校の巡回点検を行っているところでございます。各点検において、発見された不具合や危険な施設設備につきましては、早急な補修等の対応を行っているところでございます。今後も施設設備の老朽化への対応につきまして、施設巡回等通じて、状況確認いたしまして、必要な対応については継続的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。
（組） 児童数が全市的に減少している一方で、増加している学校もあります。給食に関わるすべての教職員が安心・安全に働くためには、調理場が充実することは必須です。学校環境整備課には、今後も学校現場と連携し、日々調理場の様子にも気にかけていただくようお願いいたします。
（組） 続きまして、健康教育課への発言に移らせていただきます。
（組） 要求項目2について、発言させていただきます。

来年度からの中学校給食全員喫食開始に向けて準備が進んでおられると思います。先日は、親子給食の設備改修費計上を拝見しました。親子給食に関しては現場が混乱しないように現場の意見を集約しながら準備をお願いします。また、中学校での全員喫食が始まるため中学校の担任の先生方は、実際の状況が見えず不安に思っておられるようです。給食を準備している様子や食べている状況・片付け方など動画撮影をしたり、実際に小学校の給食時間を見学していただくことで中学校の先生に理解していただきやすくなると思います。考えておられるとは思いますが、事前準備をよろしくをお願いします。

- (市) 親子調理方式の対象校4校、中央区1校と須磨区の3校につきましては、健康教育課の中学校長OBと栄養教諭が1学期に学校訪問させていただきまして、校長先生には全員喫食に向けてのアレルギー対応や給食時間の確保についてお話をさせていただいております。アレルギーの対応については、学校全体で組織的に対応する必要がありますが、訪問の際には校長先生だけでなく、養護教諭にもご同席を頂いております。また、10月に開始する親子調理方式より前の9月に開始する中央区の中学校6校についても、2学期に訪問を終えており、同様の説明をさせていただいております。学校からでました不安やお困りごとにつきましても、課内で共有させていただいております。

今後は、全員喫食の開始時期にあわせて、研修を予定させていただいており、その場で実際に全員喫食を開始している学校の様子を動画に収めた内容もみていただくことを検討しております。おっしゃっていただいたように、小学校の実際の風景等を見ていただくことが一番ご理解いただきやすいかと思っておりますので、こちらからもご提案をさせていただきたいと思っております。

- (組) 昨年もお伝えしている通り、私たちも教育委員会事務局と協力し一緒になって考えていきたいと思っております。よろしくをお願いします。
- (組) 要求項目3について、発言させていただきます。

公会計化に伴う、システムの導入においては、事前に現場状況の聞き取りをしていただきありがとうございます。今後においても、システム運用開始前に研修が予定されていると伺っており、徴収については現金を扱うことがなくなり、業務改善できると期待しております。ただ、公会計化にともない食数管理において不安要素が多いとの声があります。特に、特別支援学校やセンター校においては、管理する人数が多く、複雑になるのではないかと懸念されています。例えば、特別支援学校では、各個人で、喫食状況が異なることにより、以前より複雑さがあるようです。今後児童数の増加によりさらに管理業務が増えます。また、給食センターでは、多くの学校を受け持っており、各校の個人の変更が増加すると、食数変更や食数管理に多くの業務負担が出ることに懸念されているようです。栄養教諭が食指導等、より専門的な業務に比重がおけるよう、システムや設備の導入及び委託業者への連絡書類の作成方法変更など、現場の意見を聞いて改善していただけるようお願いします。

- (市) この度導入しております、学校給食費の収納管理システムについては、他都市でも

実績のある事業者が開発をお願いしております。どなたでも使いやすいシステムを検討しておりますので、研修等でご説明させていただき予定をしております。アレルギーで牛乳を飲まない、パンを食べないといった個別対応が必要な児童について、パターンを入力することで、年間のカレンダーに一括して反映されるようになっております。また、学校で現金を扱うことなく、納付書による入金になるなど、学校の負担軽減につながるように考えております。

初めてのシステムになり、皆様ご不安があるかと思っておりますので、2月頃にシステムの操作研修を予定しており、1コマは特別支援学校にあわせた内容で実施をさせていただき予定でございます。実施研修だけでなく、後で見返せるように研修の動画も準備させていただき予定でございますのでご活用いただければと思います。

また、センターの除外校であっても、食数管理や注文は各学校で行っていただくこととなります。センターにおられる先生方にも分かりやすい内容になっていると思いますので、もし実際使っていただいて、疑問点等あるようでしたら、ご意見をお聞かせいただければと思います。

(組) 公会計化運営開始前に、研修が予定されていると伺いました。システムの内容を早めに知ることで、混乱なくスムーズに始められると考えます。今後も、システムの導入に伴う予定の詳細を、早めに情報共有されるようお願いいたします。

(組) 中学校現場では、中学校給食全員喫食について話題に上がってくる機会が増えてきています。時程・アレルギー対応・食指導など全員喫食が始まることで現場が抱く不安も強く感じています。神戸教組では、1月に中学校教職員・栄養教員対象に中学校給食全員喫食についてセミナーを予定しているため、現場教職員にご参加いただき、参考にしてもらい、不安を少しでも取り除きたいと考えています。

公会計化について、現場が混乱しないように計画的にすすめていただきありがとうございます。移行後もスムーズにおこなわれるようよろしくお願いいたします。食数管理は、各校やセンターが報告することから、担当者が少しでも業務負担を感じないように簡潔に入力できるよう配慮をいただきたいと思います。こちらも事前に詳細の共有をよろしくお願いいたします。

(組) 2月に予定されている研修は、どなたが対象になっているのでしょうか。

(市) 学校の事務職員含め、先生方、センターの職員など、基本操作に携わっていただく方が対象になります。

(組) いま、保護者の方に、口座登録のお知らせがいつているかと思いますが、学校にも問合せが多く、PTAの中でも「どうしたらいいのか」という不安な声や「どうして別口座を作らないといけないのか」という声があると聞いております。QAも見ましたが、混乱しているところも多くあると思いますので、ご対応についても、丁寧にしていただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(組) 喫食をするかしないか迷っている児童生徒がいる場合に、公会計化の登録をすべきなのかという問合せがあり、最近は長期欠席の児童も増えてきています。イレギュラーな方が少し不安に思うのかなと思います。丁寧に対応していただいているので、ま

ずは全員に登録をと案内しているのですが、アレルギーについても、学校としては、長期欠席の方も増えているので、その方々にどのような対応をしようか、少し不安に感じているところです。注文が支払いに繋がるので、もちろん注文が止めた分は支払いがないですが、ただ一旦預かって、返金など、今までのやり方をそのまま繋ぎますが、ただやはり不安要素があるのかなと思っております。

(組) それでは、教職員課への発言に移らせていただきます。よろしく申し上げます。

(組) 要求項目 11 について発言させていただきます。

今年度の教員採用試験において、7名の栄養教諭新規採用、ありがとうございます。昨年の5名に続いて採用数増加となりました。新しい仲間が増えることは、栄養教員の職務に対する期待と要望があると感じ、うれしく思います。

来年度は新しい形態の親子給食が始まります。調理業務委託校での実施なので、栄養教員の配置があり、調理場がある学校での職務になると思います。配送先の子の学校での職務については、初めての対応となりますので、配置された栄養教員が個々に対応するのではなく、事前に話し合いの場をもっていただき双方現場と共有していただきたいです。また中学校全員喫食が開始されます。うまくスタートできて、神戸市の食育推進が充実することを望みます。中学校への関わり方は、今後の栄養教員全体の職務にも関わると思います。事前に、教職員課・健康教育課・栄養教員の代表三者で、職務等検討委員会等の話し合いの場をもっていただきたいです。

なお、今年度より未配置校への食育推進事業が増えております。栄養教員の職務が多忙をきたしています。より専門性を生かした仕事に重きをおけるよう、職務内容や業務の取組に理解を深めていただけますよう、よろしくお願いいたします。

(市) 今日お集りの、部長・副部長の方々をはじめ、栄養教員部の皆さま方におかれましては、それぞれの配属先における業務に加え、食育指導では他校へ巡回していただくなど、栄養教員特有の業務形態のもと、日々様々な課題に直面しながらも、前向きに議論し、また同じ職種の仲間同士励まし合いながら、子どもたちのために尽力いただいていることに対して、改めて感謝申し上げます。

今後も、ご自身の心身の健康状態には充分にお気を付けいただき、栄養と食の専門家として、子どもたちの健やかな成長に貢献して下さるよう、お願いいたします。

中学校の全員喫食に向けて、来年度から親子調理方式が5校で開始され、令和7年1月から第一学校給食センターからの供用開始、令和8年1月からは第二学校給食センターからの供用開始が予定されております。これらの事業を円滑に実施していくためには、栄養教員の方のお力が必要不可欠でございますので、栄養教員がその専門性を活かして職務に専念することができるよう、健康教育課と協議をしながら、検討を進めているところでございます。

職務内容については、これから具体的な検討を進めていくことになるかと思いますが、今後、親子給食の実施や給食センターからの供用等を進める中で、未配置校における食育推進がより重要になってくるものと考えています。栄養教員の多忙化解消と神戸市における食に関する指導の充実に向けて、引き続き健康教育課とも議論

を重ね、栄養教員が真に必要な業務に専念できる体制の整備に取り組んでまいりたいと考えております。その過程において、しっかり現場の栄養教員の方のご意見をおうかがいするとともに、適宜、必要な情報共有をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(組) 繰り返しになりますが、中学校の全員喫食制への移行にあたっては、栄養教員より全員喫食後の職務について、高い関心が寄せられています。来年度途中から親子給食が開始されることから、そこに関わる栄養教員が安心して働くために職務について事前に情報共有を改めてお願いいたします。混乱なく、親子給食へ移行できるよう健康教育課と連携しながら進めて頂けるとご回答いただきましたので安心しております。引き続き、神戸教組も各分会と連携しながら中学校給食全員喫食のスムーズな移行に向けて、情報共有し協力していきますので、現場・事務局一体となって、中学校給食がスムーズにいくよう取り組んでいけたらと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(市) 承知しました。よろしくお願いいたします。